

特集 3 卵巣予備能検査と不妊治療

生殖補助医療（ART）の普及により、卵巣の反応性と治療成否の予測に役立つ指標として卵巣予備能検査の有用性が検証されてきた。中でも抗ミュラー管ホルモン（AMH）は、反応性予測において最も信頼性の高い検査に位置付けられている。さらに、本検査は月経周期内での変動が少ないという特性から臨床応用の範囲が広がりつつある。妊孕性に影響を与える年齢と卵巣予備能を考慮した不妊治療計画が望まれる。

キーワード

卵巣予備能, 抗ミュラー管ホルモン(AMH), 胞状卵胞数(AFC)



いわせ あきら
岩瀬 明

群馬大学大学院医学系研究科
産科婦人科学講座 教授

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

特集
7

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。